

安全で健康的な職場へ

表彰や事例紹介で意識向上

全国労働衛生週間を前に、参加者は、労働災害の無い、安全で健康的な職場づくりの意識を高めた。関係者らによる表彰、事例発表、優良事業所などへの表彰、労働安全衛生大会、産業界、労働者代表として、主催者を代表して、



優良事業所などへの表彰

大会では、優良事業所、労働安全協会、安全協会、安全協会岩手事務所、丸幸自動車工業(株)盛岡支店(矢野町)、「建設荷役車両安全技術協会(盛岡支部)」、「建設労働災害防



事例紹介する南庄さん

大会では、優良事業所、労働安全協会、安全協会、安全協会岩手事務所、丸幸自動車工業(株)盛岡支店(矢野町)、「建設荷役車両安全技術協会(盛岡支部)」、「建設労働災害防

足跡辿り今後の治水考察

27日に一関文化センター(一関市)において、岩手大学名誉教授の平山健一氏(一関市)が「北上川の治水に於ける五大ダム」と題して講演。平山氏は、この治水の歴史を振り返り、今後の治水考察について話した。



講演する平山氏

平山氏は、北上川流域社会の歴史を振り返り、今後の治水考察について話した。北上川は、本川中流部や支川の未堤防区間の存在、盛岡の防災力の強化、最近の異常気象に起因する災害の激甚化への対応や、高齢化など多様な生活様式による災害に弱い社会などを課題として

胆沢城③

源頼義軍と阿部一族との黄海の戦い以後、戦線は膠着状態となる。頼義の恠怛たる思いは強まるばかりであった。黄海の戦いから5年ほどの歳月が流れた1062年、事態は大きく変わる。出羽国仙北三郡(今の秋田県)の清原氏が、源氏側に参陣したのである。清原氏も、安倍氏と同じく俘囚の長であり、このころは清原光頼・武則兄弟の時代であった。頼義は、一

鳥海柵

も「夷を以て夷を制する」戦略を執った。清原参戦の説得に、義家を当たらせる。義家は「一言を以て説き、贈るに珍奇を以てす」という接待攻勢をかけ、ついに光頼の説得に成功した。光頼は、弟の武則を総大将に、1万の軍勢を派遣したとされ、3000の朝廷軍は、清原氏の加勢により、安倍氏の軍勢をはるかに凌駕することとなる。源氏と清原氏の連合軍の初戦は、安倍氏の小松柵への攻撃であった。小松柵は、現在の一関市の磐井川沿いにあつたとされ、安倍頼時の弟で僧侶の良昭が守る柵で、貞任の弟の宗任を中心に安倍軍は奮戦するが、多勢に無勢で、柵を捨て、北へ逃げ去る。

隣接する堀戸柵(つぼとのさく)・おとのさくは、安倍氏の最後の砦であり、貞任、宗任をはじめ、全勢力が集結した。堅牢な両柵を攻めるのは難しく、さすがの朝廷軍も苦戦する。一計を案じた朝廷軍は、折からの強風を味方に、皆に向かつて火を放つ。皆は炎に包まれ、安倍氏の命運が尽きてしまつた。阿豆流等と同様に、安倍氏も中央の侵略に対し、果敢に戦つた。その安倍氏は、12の柵があつたといふ。安倍12柵と呼ばれるそれは、河崎柵、小松柵、石坂柵、藤原近柵(おじわらなちかのさく)、大麻生野柵(おおあそりのさく)、瀬原柵(せらのさく)、鳥海柵、鶴野柵、黒澤柵、比与鳥柵、厨川柵、堀戸柵である。

これらの柵のうち、場所がはつきりしているのは、おまのさく、鳥海柵のみである。他は、擬定地を推定できないか、推定しても、そこから柵などの遺構が発見されていない。鳥海柵は、安倍頼時の最期の地であり、安倍氏が敗走したときには、戦わずに柵を放棄してゐる。柵の主は、頼時の三男で、貞任の弟にあたる宗任であつたとされる。宗任は、鳥海三郎とも呼ばれた。

鳥海柵は、胆沢川北岸の東に張り出した台地の先端に位置し、台地の標高は、50、60メートル、その南側は胆沢川北岸の氾濫原が広がっている。柵が立地する台地と低地の比高差は約10メートルである。

柵の範囲は、南北約500メートル、東西約300メートルと推定される。この範囲の台地は、そもそも平坦であつたことが、東から傾(えぐ)るように入つてくる沢によつて、次第に浸食され、3条の開析谷(かいせきぎ)が形成されてゐた。これらの谷により、台地は四つの区画に分割された。台地の端は、段丘崖(たんきやうがけ)である。これと開析谷と

辺境のモニュメント

— 土木の営み —

<75> 藤原 忠司

朝廷軍は、安倍氏の黒沢尻、鶴野(つるほし)、比与鳥(ひよどり)などの柵を易々と破り、厨川に達する。厨川柵とそれに

朝廷軍は、安倍氏の黒沢尻、鶴野(つるほし)、比与鳥(ひよどり)などの柵を易々と破り、厨川に達する。厨川柵とそれに

朝廷軍は、安倍氏の黒沢尻、鶴野(つるほし)、比与鳥(ひよどり)などの柵を易々と破り、厨川に達する。厨川柵とそれに



鳥海柵跡

朝廷軍は、安倍氏の黒沢尻、鶴野(つるほし)、比与鳥(ひよどり)などの柵を易々と破り、厨川に達する。厨川柵とそれに

建築・防水のことならおまかせください
エコアクション21認証企業
誠実一堅牢
株式会社 熊谷工務店
代表取締役 熊谷 則子
〒020-0013 盛岡市愛宕町9番10号
TEL 019-623-5465 FAX 019-622-6340
URL http://www.kumagaik.jp/

自然と安全を大切にします
(一社)日本公園施設業協会会員
設計・製作・施工・保守管理
鉄製・木製・複合遊具施設
園路広場・修景・運動・休養・便益・管理施設
体育館・トレーニング・屋外器具
黒板・掲示板・看板
有限会社 サンプリッチ東北
本社・工場 / 岩手県北上市藤沢7地割195番地1 TEL0197(68)3860 FAX0197(68)3865

建設機械買い取ります!!
出張見積り致します。
建設機械販売・買取
Tousei Kenki
東盛建機株式会社
紫波郡矢野町大字高田16地割2-3
TEL 019(698)3770 FAX 019(698)3774
E-mail toseikenkikk@dolphin.ocn.ne.jp

株式会社 佐藤興産
ECOセンター
産業廃棄物の見積・契約・搬入予約等
産業廃棄物に関するご相談はこちらまで
環境部7-ダイヤル 0120-310-202
リサイクル処理品目
石膏ボード、木材、プラスチック、畳、ガラス陶磁器くず、コンクリート、繊維くず、アスファルト、鉄くず、紙くず、伐根材等
〒020-0403 岩手県盛岡市乙部5-320-1
TEL:019-656-1188/FAX:019-656-1189

自然に優しい環境づくりを思考する
SATO KOUSAN
ECOセンター
〒020-0403 岩手県盛岡市乙部5-320-1
TEL:019-656-1188/FAX:019-656-1189
URL: www.sato-im.com

建築・橋梁塗装・各種吹付・各種防水工事・中性化防止・樹脂注入・断熱工事
石綿飛散をアスシールシステムで防止・除去
(特許 第2131727号,特許 第2596849号)
各種塗装工事/各種防水工事/断熱工事 請負
●金属焼付塗装全般 ●木工塗装 ●FRP塗装
取扱商品
特殊セラミック塗材 ガイナ塗膜(株)日産産業
●省エネ効果...断熱・遮熱・耐久
●快適空間...防音・防臭・消臭・透湿・防露・防蟻・安全・癒し
●機能性...防汚・弾性・不燃・簡単施工
環境対応型光触媒塗料 エヌティオ(日本特殊塗料(株))
100%光触媒で汚れにくい外観に
鉄筋コンクリート防錆工法 リフリート工法(太平洋マテリアル(株))
有限会社 吉田塗装工業
盛岡市川目町23番5号(盛岡市中央工業団地)
☎019-624-4390(代表) FAX019-654-5398